

DeSCと共同開発した「拡大推計機能」が特許取得 台帳情報突合した保険者データで全国値を算出

国内最大規模の診療データベース（DB）を持つメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は業務提携している株式会社ディー・エヌ・エーのグループでヘルスケア事業を展開するDeSCヘルスケア株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：瀬川翔、以下DeSC）と共同開発した「拡大推計機能」がこのほど、国内で特許（特許番号：第7653474号）を取得しましたのでお知らせします。

拡大推計機能は患者数や処方日数、処方量などを容易に分析できるWeb分析ツール「MDV analyzer」に搭載されています。DeSCが提供する健保組合、国民健康保険、後期高齢者医療制度の保険者データを、台帳情報と突合した上で各保険者データ種別毎に有病率を計算し算出、MDVの病院ネットワークで集積した国内最大規模の診療データ（病院データ）のほかに全人口、各保険者・自治体の全加入者数を活用して全国値を算出します。

また、保険者データは出揃うまでに一定の時間が必要なため、利用者さまが全国値を必要とするタイミングと、算出できるまでにタイムラグが生じます。そのタイムラグを解消するために通常、2ヵ月前までの診療情報などが反映されるMDVの病院データで補完して、利用者さまによりスピーディに最新の全国値をご提供できます。

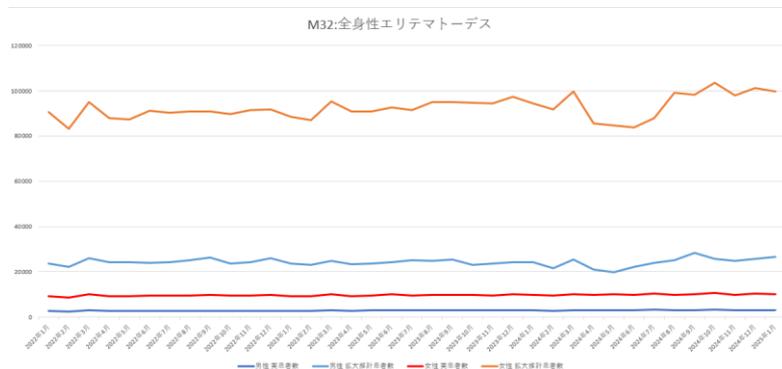
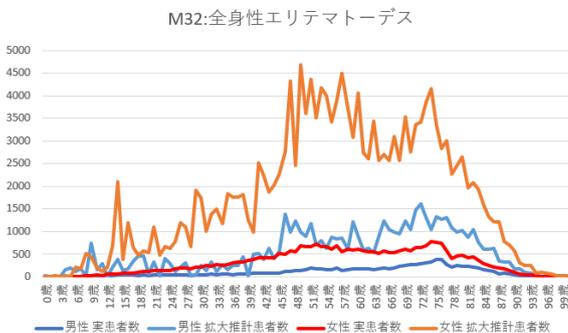
MDVは医療機関から二次利用許諾を得た匿名加工データの集積を続け、診療DBは病院データ5,153万人（実患者数、2025年3月末）に達し、健保・国保・後期高齢を含む保険者データはDeNAとの業務提携などで2,487万人（同）※となっています。

※「拡大推計機能」では、保険者データのうちのDeSC分のみを使って推計値を算出します。

【拡大推計機能の主な活用場面】

- ・0～100歳の高精度な性年齢別の市場把握
- ・当局からの照会事項に対しても全国値として活用可能
- ・新薬開発による市場予測にも活用可能

＝全身性エリテマトーデス患者の拡大推計の画面＝
左（年齢を横軸）、右（期間を横軸）



＝最新のデータ活用事例などが分かる
MDVの情報サイト＝
「MDV EBM insight」



＜本件に関するお問い合わせ＞
メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室 君塚・赤羽・汲田
TEL : 03-5283-6911（代表） e-mail:pr@mdv.co.jp